

荒川クリーンエイド2009 ご参加・ご協力ありがとうございました！

報告会で、成果をふりかえり交流しましょう

荒川クリーンエイド2009は、2～7月には22会場で実施、秋の集中月間には79会場の申込をいただき、皆様のご協力・ご尽力により各地で活発に実施いただいているところです。

今年は、従来よりの会場に加え、舎人ライナーが開通した西新井橋右岸一帯で大規模なクリーンエイドが行われました。これまでまったく手付かずだったこの場所で、5月にNTT労組・情報労連約300名、10月には都立白鷗高校約500名の皆さんが、約1kmにわたってクリーンエイドを行い、長年溜まり続けていた大量のゴミが回収されました。このように、荒川下流部では各地での皆様のご努力により「自然を取り戻すクリーンエイド」の点が線につながりつつあります。

さて、今年も、荒川クリーンエイド2009を総括する「荒川クリーンエイド2009報告会」を右記の通り開催いたします。

実施会場数や参加者数、回収ゴミ袋数など今年の成果を報告させていただくほか、実施団体の皆さんからも取り組みや苦労など活動の様子をご報告いただくなど、企業、市民団体、学校、市区などさまざまな団体が交流できる貴重な場としたいと存じます。

どなたでも参加いただけますので、ぜひご参加よろしくお願いたします。

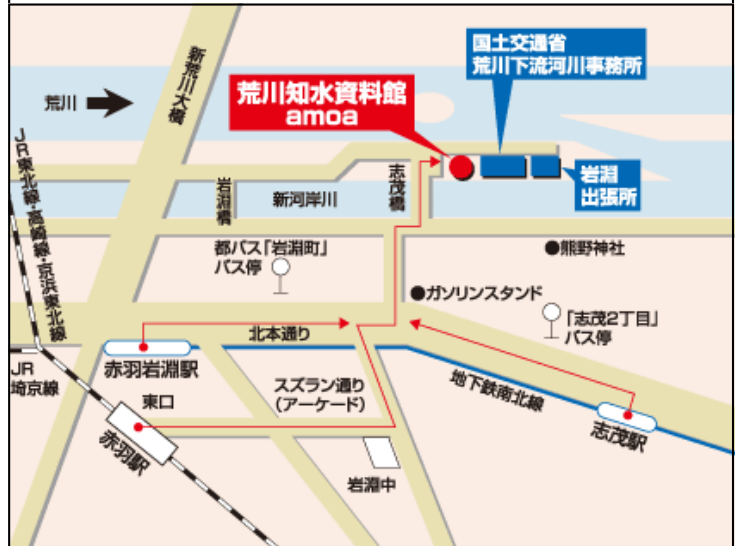
荒川クリーンエイド・フォーラム
 代表理事 佐藤 正兵

荒川クリーンエイド2009報告会 ご案内

日時： 2009年12月5日(土) 13:00～16:00
 会場： 荒川知水資料館 アモアホール
 (赤羽駅より徒歩約20分、赤羽岩淵・志茂駅より徒歩約15分)
 対象： 荒川クリーンエイド実施団体のリーダー、その他関心のある方
 内容： 荒川クリーンエイド2009結果の速報、グループミーティング、意見交換、ミニ交流会等(予定)

申込・問合せ *できるだけ事前にお申込みください。

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
 TEL: 03-3654-7240 FAX: 03-3654-7256
 Eメール: renraku@cleanaid.jp



昨年の報告会で

目次

荒川クリーンエイド2009報告会 ご案内	1
秋のクリーンエイド会場から	2・3
みんなのクリーンエイド 報告	3
荒川クリーンエイド2009秋 速報	4・5
奥秩父荒川源流エコツアー 報告	6
第13回 荒川流域再生シンポジウム 報告	7
下平井水辺の楽校で「荒川学習」	7
いつでもできるゴミ拾い・荒川市民パトロール隊	8
協賛・支援団体のご紹介、メルマガメンバー募集、ボランティア・スタッフ募集	8

秋の
クリーンエイド
会場から

ウェイクボーダーの立場から考えたゴミの現状

DKWBS 長内 康弘さん

今回、初めてクリーンエイドを単独で行いました。荒川クリーンエイドの参加は2年目になります。当日は普段ウェイクボードをやっている仲間、総勢34名での参戦です。クリーンエイドを行った場所は木根川橋付近「ヒヌマイトトンボ生息地」でした。今年の春に日本橋高校の学生さんたちがゴミ清掃を行ったと聞いておりましたが、数日前に通った台風の影響からか現地には多数のゴミが散乱しており、お世辞にもキレイな状態とは言えず、沢山のゴミが捨てられ続けているんだと再認識させられます。

クリーンエイドを開始してから1時間半、集計してみると相変わらずプラスチック系のゴミが多く、特にペットボトルゴミは200個以上、包装ゴミに関しては300個以上という驚くような結果。拾ったゴミを入れたゴミ収集袋をまとめると、約30袋もの、言うなればゴミの山になっていました。

その後のふりかえりや、水質検査などを通して、今回初参加した人たちにこの現状を伝えることができたと思います。

普段、この荒川で直接水に入り、水上スポーツをしている我々ですが、今回この現状を目の当たりにして、いろいろと考えさせられることが多く、クリーンエイド活動を継続していく大切さと意義を全員で共有し、会場をあとにしました。

反省すべき点多々ありましたが、経験を積んでいくことでクリアしていきたいと思えます。



秋の
クリーンエイド
会場から

町の自然環境を保全するために

特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム 愛場 謙嗣さん

10月18日、秋晴れの中、地元・鳩山町の農協直売所に集合。荒川水系で、越生町の黒山三滝を源流とする越辺川と、その支流のひとつの唐沢川のゴミ集めに出発しました。

鳩山町は、埼玉県ほぼ中央に位置し、物見山丘陵にある面積25.7km²の小さな町です。東武東上線池袋駅から急行で1時間ほどの高坂駅で下車して、大東文化大学や東武こども動物公園のある方向のバスに乗り、15分ほどで着く大規模開発住宅・鳩山ニュータウン(1971年入居開始)が私たち「はとやま環境フォーラム」の主なメンバーが住んでいるところです。

そんな、いわゆる”新住民“が”終の棲家“にしようとしている町の自然環境の保全・観察活動を続けているのが当フォーラムです。川の掃除はこれまで、埼玉県の「水辺の里親」制度に登録し、その一貫として3年前から行ってきましたが、今回は、荒川流域の下流・中流・上流の住民が一齐にゴミ掃除をしようという「荒川クリーンエイド・フォーラム」さんの呼びかけに賛同し、参加させていただきました。

参加者は少数精鋭?の7人。予定していたゴミ拾い区域を午前中に回り終えるにはちょっと少ない人数なので、「半分だけはやろう」と唐沢川下流に向かいました。この川の中・上流にはホタルやトウキョウサンショウウオや、ホトケドジョウが棲んでいる自然豊かな小川です。車からの投げ捨てゴミ、家庭菜園からのビニールゴミなどがあり、プラスチックゴミが132、発泡スチロール18、金属類26、その他23個という具合でした。そして、ひとまず、町役場から指定されたゴミ回収場所にゴミ袋を置き、「まだ、1時間半ばかり時間があるけど、どうしましょうか?」と相談したら、「もうちょっと、できるよね」ということになり、越辺川まで戻り、そこでも全部で270個ほどのゴミを拾いました。

参加者をもっと募るのが課題です。「来年は川掃除の後、バーベキューをしよう」「実施日が子供たちの試験日と重ならないように」とか「地元の大学生にも声掛けを」との反省しきり。お昼過ぎに「ご苦労様でした」といい汗かいて、解散。メタボ防止には格好の一日でした。来年もよろしく願います。



秋の
クリーンエイド
会場から

川にゴミを捨てる人が少なくなることを願って

東京都立白鷗高校2年 関口舞さん、柳澤友香さん

私は今回学校の奉仕の授業として、リーダー研修と奉仕当日に参加しました。

リーダー研修では少人数で詳しい説明をしていただき、ゴミ拾いへの理解が深まりました。荒川クリーンエイドの活動では、ゴミの分別は勿論ですが、拾ったゴミの数を種類別に数えるということに驚きました。同時に、集計結果で自分たちがどれだけ拾ったのか分かるので楽しみになりました。

いざゴミを拾いに川辺に出てみると、予想以上のゴミの多さに唖然としました。なるべく多く拾おうと努力しましたが、やはりあまり数が多く、1時間の活動ではごく狭い範囲しか拾えなかったことが大変心残りです。当日の活動でも、同じ印象を受けました。

何気ないポイ捨てもあのように溜まってしまふのだと思うと、一人ひとりがゴミはしかるべき場所に捨てるよう努力すべきだと改めて実感しました。(関口さん)

* * *

私は今回学校の奉仕で初めて荒川クリーンエイドを知りました。外から見ると、あまり汚れていないように見えたので、そんなに大変なことでもないなと思っていましたが、草の茂みに隠れるように多くのゴミが捨てられていたので、とても驚きました。お菓子の袋やペットボトルをはじめ、ガスボンベや注射器などの危険なものも多く、川辺には子どもの遊ぶところもあるので、子どもがもし触って何かあったらなどと考えると恐ろしいです。その多くのゴミの中に家具などの粗大ゴミがあったことが一番ひどいなと思いました。いくらお

金がかかるといっても、環境のことも考えずに捨てる人がいると思うと、悲しかったです。

今回クリーンエイドで少しでも川がきれいになったことは嬉しかったです。この活動がもっと世の中に広がって、川に物を捨てる人が一人でも多く減ったらいいなと思いました。私も今度は学校ではなく自主的にこの活動に参加したいです。(柳澤さん)



みんなのクリーンエイド 報告

秋のクリーンエイド月間に向けて、クリーンエイド体験

さわやかな秋晴れの空の下、河川敷ではマーチングバンドの練習なども行われにぎやかな中、40人の参加で「みんなのクリーンエイド」が行われました。

昨年秋より、クリーンエイド説明会の午前中に、はじめてクリーンエイドを実施されるリーダーの皆さん等にクリーンエイドを実体験していただくこと、春と秋の2回、荒川クリーンエイド事務局主催で実施しています。

この日は、企業のCSR担当、市民団体、行政など多彩な顔ぶれで、中でも都立白鷗高校から当日リーダーを務める生徒の皆さんが18人も参加くださり、たいへん活気ある開催となりました。

小1時間ほどの作業の中で、参加者の皆さんのおかげで多くのゴミを拾い集めることができました。ふりかえりでは、ゴ

ミのひどさ(実際に注射器を何本か拾われました)に驚いた等、様々な感想を聞くことができました。

水質調査では、高校生の数人が採水を体験。パックテストも参加者に体験してもらいながら行いました。透視度計では、側面から見たときと上からのぞいたときの透明具合の違いに驚きの声が上がっていました。こうして、午前の部のクリーンエイド体験会を終えました。(栗林)



「ふりかえり」の時間に「気づき」を共有

(みんなのクリーンエイド 概要)

日時: 2009年 9月26日(日)

会場: 荒川 千住新橋下 右岸

主な内容: 趣旨説明、手順説明、資材配布、ゴミ拾い活動、
ゴミの集積、水質調査、ふりかえり、集合写真撮影、
クロージング

荒川クリーンエイド2009秋 速報

2009年秋のクリーンエイドは、79会場がエントリー、雨天等で中止になった11会場を除くと57会場で実施され、11会場を残すばかりとなっています。以下に11月17日までに報告のあった会場の概況をまとめました。

(2009年11月17日現在)

会場No	一般参加受入	実施市区	実施会場名	実施団体名	キャプテン	実施日	曜日	天気	参加人数	大人	子ども	ゴミ袋数	粗大ゴミ件数
1		秩父市	秩父市営影森グラウンド前	NPO法人秩父の環境を考える会	磯田久子	10月25日	日		中止(雨天)				
2		長瀨町	高砂橋上流右岸	秩父子どもエコクラブ	新井秀直	9月20日	日	快晴	23	7	16	5	0
3		熊谷市	野鳥の森、見晴公園、日本ヒューム管前、村岡運動場、桜木小学校前、久下公民館前	NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会、第12回荒川の恵みと熊谷の環境を考える集い実行委員会	栗原 堯	11月8日	日	曇	1447	1166	281	可燃 不燃 粗大 合計	1380kg 870kg 770kg 3020kg
4		鴻巣市	大芦橋下流左岸	鴻巣の環境を考える会	川島秀男	11月23日	月						
5		鴻巣市	糠田橋下流左岸	鴻巣の環境を考える会	川島秀男	11月23日	月						
6		鴻巣市	御成橋下流左岸	鴻巣の環境を考える会	川島秀男	11月23日	月						
7		滑川町	市野川 羽尾地区高橋	市野川水系の会イン滑川町	伊藤恭史	10月18日	日	晴	14	14	0	19	2
74		東松山市・吉見町	市野川橋上流吉見百穴前	ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会	桜井福司	11月14日	土		中止(雨天)				
8		川島町	太郎右衛門自然再生事業地	NPO法人荒川流域ネットワーク	鈴木勝行	11月8日	日	快晴	20	20	0	69	100以上
9		上尾市	三ツ又沼ピオトープ	NPO法人荒川の自然を守る会	菅間宏子	10月4日	日		8	8	0	0	
45	×	川越市	入間川上戸運動公園	NTT東日本埼玉グループ	矢沼恆雄	11月8日	日	晴	56	53	3	81	
10		鳩山町	越辺川 石今橋周辺	NPO法人はとやま環境フォーラム	愛場謙嗣	10月18日	日	快晴	7	7	0	15	9
11		鶴ヶ島市	大谷川 太田ヶ谷地区・藤金地区・五味ヶ谷地区	大谷川クリーンエイド実行委員会	鈴木勝行	11月1日	日	晴	86	81	5	92	11
12		日高市	高麗川獅子岩橋	みずすましの会	島田和美	10月18日	日	晴	3	3	0	9	1
13		狭山市	不老川新入曾橋上流	不老川流域川づくり市民の会	遠藤日出子	11月1日	日		28	20	8	6	0
14		東久留米市	黒目川上落馬橋	黒目川クリーンエイド実行委員会	菅谷輝美	10月25日	日	小雨	588	580	8	44	8
15		朝霞市	黒目川浜崎黒目橋	黒目川に親しむ会	藤井由美子	10月11日	日	晴	14	12	2	10	19
47	×	さいたま市	秋ヶ瀬公園	ダイエーグループ、マルエツグループ、セディナグループ、丸紅グループ	細田真也	11月7日	土	晴	180	152	28	35	30
46	×	さいたま市	さいたま市秋ヶ瀬運動公園	NTT東日本埼玉グループ	矢沼恆雄	11月8日	日	晴	104	101	3	56	9
48	×	板橋区	笹目橋下流右岸	(株)ファミリーマート	榎本 勤	10月17日	土	曇	10	10	0	7	0
16		板橋区	板橋自然生態園・中規模自然地区周辺	いたばし野鳥クラブ、JP労組城北支部、板橋区緑と公園課、板橋水辺を楽しむ会、センスオブアース	栗林菊夫	10月25日	日	雨のち曇	55	46	9	21	14
49	×	板橋区	戸田橋緑地草地広場周辺	板橋グローブクラブ	佐々木千枝	11月15日	日	晴	23	10	13	3	0
17		戸田市	戸田橋左岸周辺	(財)埼玉県生態系保護協会戸田・蕨支部、戸田市河川課、荒川夢クラブ	石本 誠	11月14日	土		中止(雨天)				
18	×	川口市	三領水門～荒川鉄橋(荒川運動公園付近)	川口市、ガールスカウト川口地協議会	重信健二	11月1日	日		中止(インフルエンザのため)				
19		川口市	河原町はらっぱ	(財)埼玉県生態系保護協会川口支部	西尾研二	10月24日	土	曇	9	7	2	15	6
50	×	北区	JR東北線右岸周辺	都立桐ヶ丘高校	石川正彦	11月10日	火	晴	80	80	0	40	2
20		北区	北区子どもの水辺	北区水辺クラブ	松下正義	10月10日	土	曇	3	3	0	3	0
21		北区	北区子どもの水辺	北区水辺の会	太田桐正吾	10月17日	土	曇	12	12	0	13	2
22		北区	荒川岩淵緑地	北区	山崎伸一	10月18日	日	晴	316	300	16	103	14
23		北区	岩淵水門付近	日本ボーイスカウト東京連盟北区第11団	渡辺英敏	9月27日	日	曇	14	6	8	6	0
51	×	足立区	西新井橋上流右岸	都立白鷗高校	佐藤織香	10月1日	木	曇	493	493	0	281	140
52	×	足立区	西新井橋上流右岸	三井住友海上メットライフ生命保険(株)	野田龍史	11月28日	土						
24	×	足立区	扇大橋下流右岸	尾久の原愛好会	池田 稔	10月25日	日		中止(雨天)				
25		足立区	扇大橋下流右岸少年運動場	荒川区教育委員会事務局社会体育課	古口忠志	11月1日	日	晴	450	100	350	73	1
26		足立区	西新井橋野球場	荒川区教育委員会事務局社会体育課	古口忠志	11月1日	日	晴	11	11	0	1	0

会場 No	一般 参加 受入	実施市区	実施会場名	実施団体名	キャプテン	実施日	曜 日	天気	参加 人数	大人	子ども	ゴミ袋 数	粗大ゴミ 件数
27		足立区	千住新橋上流右岸(運動公園)	台東区教育委員会青少年スポーツ課	篠原正之	10月10日	土	晴	35	5	30	18	4
53	×	足立区	千住新橋上流右岸	㈱日立ビルシステム	高橋 円	10月3日	土	中止(雨天)					
79	×	足立区	千住新橋上流右岸	日本サムスンデザインチーム		11月21日	土						
28		足立区	千住新橋右岸周辺	荒川クリーンエイド・フォーラム	佐藤正兵	9月26日	土	晴	43	43	0	35	7
54	×	足立区	扇大橋下流左岸	足立区立寺地小学校	丸山昌哉	10月27日	火	中止(工事のため)					
44		足立区	本木ワンド(扇大橋下流左岸)	足立区あらかわ市民会議	鈴木 誠	11月8日	日	曇	21	17	4	20	11
56	×	足立区	千住新橋下流左岸(千住新橋緑地)	足立成和信用金庫	齋藤貴子	9月26日	土	晴	384	374	10	40	0
29		足立区	千住新橋下流左岸(千住新橋緑地)	足立区、足立区荒川ビジターセンター、足立の川を考える会	八鍬一生	11月8日	日	晴	446	253	193	124	
55	×	足立区	千住新橋下流左岸(千住新橋緑地)	東京白鷗・城北・西新井・足立中央ライオンズクラブ	武居正幸	10月3日	土	中止(雨天)					
30	×	荒川区	隅田川白鬚橋上流右岸	あらかわエコフレンド	押川賢次郎	10月25日	日	中止(雨天)					
31		墨田区・台東区	隅田川吾妻橋～桜橋テラス	隅田川市民交流実行委員会	糸井 守	9月26日	土	晴	2	2	0	8	0
32		葛飾区	堀切橋下流左岸	荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	黒川幹雄	10月25日	日	小雨のち曇	48	12	36	15	11
57	×	葛飾区	堀切りバーステーション下流左岸	国土交通省荒川下流河川事務所	佐藤信行	10月23日	金	晴	44	44	0	69	39
33		葛飾区	四ツ木橋下流左岸	荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	関口徹	10月25日	日	小雨のち曇	97	8	89	48	5
58	×	葛飾区	木根橋周辺左岸	新生銀行グループ	永原佐知子	10月17日	土	曇	42	33	9	61	3
59	×	葛飾区	木根橋周辺左岸	新生フィナンシャル㈱	永原佐知子	10月21日	水	晴	58	58	0	129	4
34		葛飾区	平井大橋上流左岸(葛飾あらかわ水辺公園)	東京損害保険代理業協会	武舎利幸	10月24日	土	曇	40	40	0	32	3
62	×	葛飾区	平井大橋下流中土手	葛飾区立小松南小学校	田中美穂	11月17日	火	延期(未定)					
35		墨田区	四ツ木橋上流右岸	㈱エックスワン	赤平百合	11月7日	土	晴	122	122	0	110	43
36		墨田区	四ツ木橋下流右岸(自由運動公園)	墨田区、ライオン㈱	郡司剛英	11月14日	土	中止(雨天)					
73		墨田区	京成押上線周辺右岸	DKWBS	長内康弘	10月18日	日	晴	36	34	2	29	13
76	×	墨田区	京成押上線周辺右岸	GEキャピタル・ジャパン	堂園義信	10月25日	日	中止(雨天)					
61	×	墨田区	木根川橋下流右岸	松山油脂(株)	杉崎広信	11月21日	土						
65	×	江戸川区	木下川排水機場桶管～ロックゲート	小松川平井連合町会	谷川貞夫	11月15日	日						
64	×	江戸川区	平井大橋右岸周辺	(株)ローソン	伊藤義人	11月1日	日	晴	127	84	43	57	20
37		江戸川区	総武線下流右岸	下平井水辺の楽校、荒川クリーンエイド・フォーラム、三井ボランティアネットワーク事業団	中嶋美南子	10月18日	日	晴	51	36	15	37	15
67	×	江戸川区	総武線下流右岸	江戸川区立平井東小学校	峰岸知恵子	11月25日	水						
66	×	江戸川区	総武線下流右岸	江戸川区立平井小学校	佐藤綾子	11月20日	金						
78	×	江戸川区	小松川橋周辺右岸	(株)藤商事	飯山 清	11月7日	土	晴	68	66	2	32	3
38		江戸川区	船堀橋上流右岸	江戸川生活者ネットワーク、ガールスカウト第215団	藤居阿紀子	11月8日	日	晴	45	30	15	42	10
68	×	江戸川区	船堀橋上流右岸	東京東江戸川ロータリークラブ	嶋村文男	11月28日	土						
75	×	江戸川区	船堀橋上流右岸	ブルームバーク L.P.	野口有紀	10月14日	水	曇	44	44	0	51	21
60	×	江戸川区	船堀橋上流右岸	ブルームバーク L.P.	野口有紀	12月11日	金						
69	×	江戸川区	船堀橋下流右岸	日本アイ・ピー・エム㈱	横田由美子	11月1日	日	晴	66	53	13	98	41
70	×	江戸川区	都営新宿線下流右岸	シティグループ	美馬貴子	11月7日	土	晴	9	9	0	32	6
39		江戸川区	中土手五色池付近	中土手に自然を戻す市民の会	佐藤正兵	11月15日	日	晴	27	20	7	13	0
63	×	江戸川区	中土手五色池付近	江戸川区立大杉小学校	細谷佳代	10月23日	金	曇	152	8	144	5	0
40		江戸川区	葛西橋上流中土手	江戸川区土木部、江戸川区生ごみ堆肥化実践クラブ	小川耕治	11月1日	日	曇	18	18	0	64	8
71	×	江戸川区	葛西橋周辺中土手	江戸川区立西葛西中学校	松岡英理	9月26日	土	晴	13	1	12	3	0
77	×	江戸川区	葛西橋周辺中土手	江戸川区立西葛西中学校	松岡英理	10月19日	月	晴	17	1	16	3	0
41		江東区	葛西橋下流右岸	Jambo International Center	デイヴィッド・ハウエンスタイン	10月16日	金	晴	2	2	0	13	4
42		江東区	葛西橋下流右岸	江東区(土木部水辺と緑の課)	広川隆司	10月24日	土	晴	38	37	1	29	2
72	×	江東区	新砂千潟(清砂大橋下流右岸)	江東エコリーダーの会	阿部美和	11月1日	日	晴	11	11	0	30	11
43		江戸川区	葛西海浜公園東なぎさ	葛西東渚・鳥類園友の会	飯田陳也	11月10日	火		120	120	0	220	21
計									6,161	4,773	1,388	2,254	911

奥秩父荒川源流エコツアー 報告

源流域の活性化とバイオマス発電

荒川クリーンエイド・フォーラムは、荒川源流との交流を目的に1995年来エコツアーを続けています。今年は、バイオマス発電、源流の森の木材利用などをテーマに行いました。参加者の西村達也さんのレポートでお伝えいたします。

* * *

8月中旬、親友と東京飯田橋にあるNPO資料室で荒川源流エコツアーのパンフレットを見て「ヤアヤア、これいいねー」「清涼感が溢れて魅力あるツアーだねー」と話を交わして、早速その日の午後親友が荒川クリーンエイド・フォーラム事務所に参加を申し込みました。

楽しみにしていた9月5日、西武秩父駅の集合で貸切りマイクロバスに乗り、山中進さんより、荒川の源流は清流ですが、中流、下流の水質も以前に比べると良くなって来ているとの案内がありました。

今回ツアーの目玉の一つであります、荒川の源流森林を活用してエネルギーを地産地消、循環型社会の育成を推進している西秩父地区の元気村吉田を訪ねました。森林木材から出る破材を利用して木製チップをガス化し、ガスエンジンで発電する「バイオマス発電所」の見学では、まだ採算性は良くないが、森林木材利用と併せて、実効性のある温室効果ガス排出量削減に向けて大いに期待出来るとの説明を受けました。環境問題は日常の生活に深く係っています事を改めて実感しました。

二日目の原生林トレッキングでは、奥秩父の自然豊かな源流の水澄みきる中、森林保全に従事しておられます山中さん、森さん、飯塚さんの先導で、緑の木々に囲まれた(うっそうとした木々が茂る)狭い道を歩き、奥深くたどり着いた処は中津・西沢の巨大カツラの木(樹齢何百年を経てい

(奥秩父荒川源流エコツアーの概要)

日時: 2009年 9月5日(土)・6日(日)

見学地: 埼玉県秩父市大滝(旧吉田町・大滝村)

主な内容:

【一日目】 木材店と森林組合の貯木場見学
バイオマス発電所見学
間伐作業場見学
交流会、ディスカッション

【二日目】 原生林トレッキング(カツラ巨樹見学)
鉄砲堰見学

* 鉄砲堰とは、伐採した木材を水力で運び出すために昔利用した木の堰

るのかなーと)。ああーここが巨大カツラかと、大きく深呼吸し、身体いっぱい森林浴をしました。案内人から、森は二酸化炭素を吸収して水害を防ぎ、さらに土砂崩れを防ぐために必要であるが、山の斜面は鹿の食害に遭い草が食べられ地面がむき出しになっている現状を聞き、見ながら下山しました。

今回二日間の体験ツアーに参加して感じました事は「荒れ放題の森林」が自然災害が起る要因かなーと、実感しました。
(西村 達也さん)



秩父広域森林組合
木材センターを見学

秩父市大野氏、林業活性化の方向性を語る

宿舎となったこまどり荘において、夕食後に上下流の交流会を実施しました。まず、秩父市環境農林部管理幹の大野氏から、秩父市の林業と環境の抱える問題について報告をいただきました。続いて、荒川下流河川事務所管理課長利根川氏から荒川下流部におけるゴミ対策事業について、そして、江戸川区土木部長 土屋氏から源流の木材利用についてそれぞれ報告を受け、意見交換を行いました。ここでは、以下秩父市からの報告の概要をご紹介します。

合併後の秩父市面積の87%が森林、その約半分が人工林で、年間約20万 m^3 の CO_2 を吸収している。人工林の約半分は民有地で、ほとんど手入れがなされていない。杉材の値段が1 m^3 4,400円と50年前とほぼ同じで採算に合わず、林業従事者は10分の1に減少している。

こうした中で、機械化によってコストを下げる努力が行われており、作業道から20mのアームを伸ばし、その先にワイヤーで引く形で40mまでの材木を処理する機械もできてい

る。秩父地方は山が急峻で作業道がつけにくく、機械化は進んでいない。

そこで、森林管理、維持保全のための公的支援の創出(森林環境税など)、森林管理道の敷設、高性能林業機械等による新しい森林施業の創出により、林業経営を再興し、それによって環境保全を図ってゆきたい。

バイオマスエネルギーは環境保全の有効な方法であり、このような新エネルギーを高価で買い取る施策が整えば前進できる。議員立法の「木材利用推進法」は廃案になったが、このようなものを復活して国産の木材利用を進めてもらいたい。

江戸川区さんが区内の公園施設に秩父の木材を利用されると聞き、大いに期待している。

バイオマスエネルギーは、チップとして利用するほか、様々な利用法を実験的に検討しており、炭やタールの利用、さらには発生する CO_2 を使ってクロレラを栽培するなどの実験も行っている。
(文責 佐藤)

第13回 荒川流域再生シンポジウム 報告 「魚を増やす川作り」をテーマに開催

8月22・23日熊谷市内を中心に「荒川流域ミズガキ交流会」を開催、その中で、「魚を増やす川作り」をテーマに「第13回荒川流域再生シンポジウム」を実施した。

22日は「川遊び交流会」として、まずタウン誌編集者平秀子氏から河川敷内の旧新川村(参加者が漁師体験をする会場)について講演をいただき、続いて漁具の制作販売を生業にしている三谷釣漁具店の三谷和正氏から、昔から伝わる漁法を実物の漁具を使って、微に入り細に入った説明に全員納得。

その後、埼玉中央漁業協同組合が運営しているマス釣り場の一角を借りてマスの塩焼きとおにぎりで野趣満点の昼食をいただいた。

午後は、荒川河川敷の中にある旧新川村の拠点に移動して投網による魚獲りの実体験。私達の投網にはオйкаワが殆どで、目標の



投網で取れた天然アユ



伝統漁具の紹介



シンポジウムの後に

(荒川流域ミズガキ交流会の概要)

日時: 2009年 8月22日(土)・23日(日)
見学地: 熊谷市、旧新川村、東松山市「風と土の館」野田
主要内容: シンポジウムと伝統漁法の体験・交流など
【1日目】 オリエンテーション
旧新川村の歴史 伝統漁具の紹介
川遊び交流会(投網) 荒川中流旧新川村にて
上下流交流会 風と土の館・野田にて
【2日目】 第13回荒川流域再生シンポジウム
「魚を増やす川作りに向けて」
「荒川の恵と漁法について」中央漁協理事 新井氏

アユは数匹であったが、三谷氏や漁協の人たちは、上流に移動しながら投網でアユを魚籠一杯持ち帰り、東松山の古民家「風と土の館」野田での夕食では天然アユの塩焼きをいただき、ミズガキ有志による流域交流会を夜半まで開催した。

23日は、「風と土の館」集会室で、9時30分からシンポジウムとみずかけ「サ」論を開催。「魚を増やす川作りに向けて」をテーマに、最初に現在進行中の人間川流域でのアユの試験放流結果について、プロジェクト事務局から中間発表が行われた。

次いで「荒川の恵みと漁法について」と題して、埼玉中央漁業協同組合理事の 新井正夫氏による講演が行われた。荒川流域において昔から漁師が使っていた漁具と漁法について、講師自らの経験と資料を基に解説され、好評を得た。資料は手書き部分もある旧埼玉県蚕糸特産課がまとめた『埼玉県の漁具漁法』。貴重な資料なので、何らかの形で再販することを検討している。

(荒川流域再生プロジェクト代表 岡里 徳郎さん)

当イベントは、2000年から継続している「荒川流域水環境シンポジウム」を引き継ぐ形で、NPO法人荒川流域ネットワークの「荒川流域再生プロジェクト」の主催で行った。当フォーラムも構成団体の一員として参加している。

下平井水辺の楽校で「荒川学習」

荒川河口近くの自然地「下平井水辺の楽校」(江戸川区)では、近隣の小学校3校が総合的な学習の時間を利用して「荒川学習」に取り組んでいます。今回は、江戸川区立平井小学校の10月20日の活動をご紹介します。

9:15 子どもたちがわくわくどきどき集まってきました。

まずは、今日の学習について先生からお話。そして、忘れてはならないのが、安全についてのお話。活動範囲を守ろう、干潟で注意することは?、ヨシの切り口に注意、もしもへびに出会ったら等々。保護者サポーターの皆さんも子どもたちの安全を見守ります。

9:30 調べ学習の開始。チョウの燐粉ってどうなっているの? 外国から来た植物にはどんなものがあるのかな? など、グループごとに考えてきた課題に沿って実際にフィールドで調べます。自分たちで計画した学習だ

から、みんな生き生きと活動しています。どろんこになってもへっちゃら!

10:30 陣地に戻って、採集した動植物を観察したり記録したり。図鑑で調べてもどうしてもわからないことは、講師の先生にヒントをもらいます。

11:30 たっぷり荒川の自然と触れ合った後は、採集した生き物たちを自然に戻します。荒川でまた会おう!

荒川学習に関するお問合せは、荒川クリーンエイド・フォーラムまで。「あらかわ楽習実践ガイド」「荒川遊学ガイド」が参考になります。

(星野)



荒川のために一人ひとりが 行動できる仕組みがあります

誰でも気軽に「いつでもできるゴミ拾い」

荒川下流部沿川の2市7区と荒川下流河川事務所からなる荒川下流部ゴミ対策協議会は、市民、NPO団体、沿川自治体、河川管理者が協働で実行していく『荒川下流部ゴミ対策アクションプラン』を2000年に定め、住民とともに河川のゴミ問題の解決を進めています。

「いつでもできるゴミ拾い」は、荒川クリーンエイドと共に『荒川下流部ゴミ対策アクションプラン』の中で定められている取り組みの1つです。この取り組みは、河川敷の所定の場所(主に公園管理所)でゴミ袋を受け取り、河川敷に設置してあるゴミ集積所に拾ったゴミを自由における仕組みです。

「いつでもできるゴミ拾い」は荒川河川敷で誰もがいつでもできるゴミ拾いです。気になるゴミがありましたら気軽にご参加ください。

荒川下流部ゴミ対策協議会では、この「いつでもできるゴミ拾い」をもっと広めていくため、今年度パンフレットを作成し多くの方々に周知していくこととしています。

グループで計画して実施するゴミ拾いは、「荒川クリーンエイド」として実施をお願いします。

いつでもできるゴミ拾い

誰もが、自発的かつ日常的に、小規模にゴミ拾いができる仕組みです。


河川敷の指定場所より専用ゴミ袋を受け取り

↓

ゴミを拾って

↓

指定の場所に置きます



市民の目で荒川を見守る

「荒川市民パトロール隊」

荒川で「ゴミが棄てられていた」「迷惑な行為がされていた」「魚が大量死している」など、日頃、自然観察、スポーツ、散歩などで荒川等を訪れた時に気づいた様々な情報等を河川事務所に連絡する活動をしているのが「荒川市民パトロール隊」です。この活動は、定期的に河川を巡視したり不法行為に対し直接注意や指示を行うなどの特別な責任や権限はありません。気軽に無理なく安心して出来る活動で、よりよい荒川のためにみなさんの声が反映される仕組みです。

「荒川市民パトロール隊」隊員は随時募集しています。ご関心のある方は、国土交通省荒川下流河川事務所または荒川クリーンエイド・フォーラムまでお問い合わせください。募集要綱および応募用紙を送付いたします。(伊藤)

荒川下流河川事務所管理課

荒川市民パトロール隊担当 TEL 03-3902-2379

荒川クリーンエイド・フォーラム

E-mail renraku@cleanaid.jp TEL 03-3654-7240

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラムでは、2009年度、「荒川市民パトロール隊」を含む市民ボランティア活動を促進するための支援業務を請負っています。

て
— 〇月三十一日「あらかわ号」に
荒川市民パトロール隊」の研修
会が開催されました。



ご協賛・ご支援をありがとうございました！

以下の団体より、荒川クリーンエイド2009へのご協賛をいただきました。ご支援ありがとうございました！

- 足立成和信用金庫、(社)食品容器環境美化協会、
- 東京白鷺・城北・西新井・足立中央ライオンズクラブ、
- (株)トンボ鉛筆、日本たばこ産業(株)東京支店、
- (株)日立ビルシステム、ライオン(株)、(株)ローソン (五十音順)

チャリティ・プラットフォーム「定額給付金基金」より31,038円の分配金をいただきました。ゴミ袋購入に使わせていただきます！

東京ボランティア・市民活動センター「NPO組織強化プロジェクト」で、ゴールドマン・サックス証券(株)、次世代グローバルリーダー育成道場(YGL)のボランティアの皆さんにご協力いただき「リパークリーンエイド・キャンペーン」を企画しました。

サービスグラントのボランティア・スタッフの協力をいただいて、ホームページのリニューアルを進めています。

メルマガメンバー募集中！

年6回程度メルマガをお届けし、荒川クリーンエイドの開催情報や各種イベントなどをお知らせしています。ご希望の方は事務局までお問合せください。

ボランティア・スタッフを求めています！

ボランティアでお力を貸していただける方を求めています！関心のある方はぜひお問合せください。

- データ入力・発送
- ゴミ見本制作
- チラシ制作
- HP更新
- クリーンエイド指導補助
- 自然観察指導 等

荒川クリーンエイド2009ニュースNo.4

2009年11月20日発行

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
 〒132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204
 TEL 03-3654-7240 FAX 03-3654-7256
<http://www.cleanaid.jp> Eメール renraku@cleanaid.jp